

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 64-068503

(43)Date of publication of application : 14.03.1989

(51)Int.Cl.

A41B 13/02

(21)Application number : 62-223780

(71)Applicant : UNI CHARM CORP

(22)Date of filing : 07.09.1987

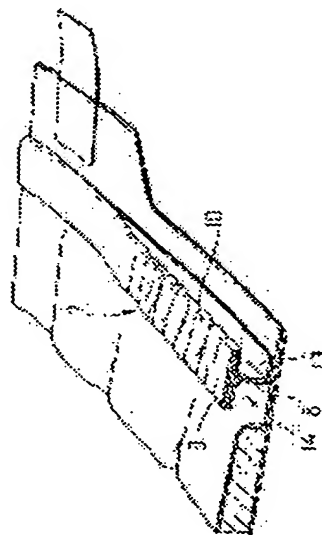
(72)Inventor : SUZUKI MIGAKU  
OCHI KOZO  
KUDO TAKESHI

## (54) DISPOSABLE DIAPER

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To obtain the subject diaper capable of sufficiently receiving excrements in a pocket by disposing elastic members in the second branched part inward projected from a first branched part of a flexible flap and also in a third branched part outward projected therefrom.

**CONSTITUTION:** This disposable diaper is obtained by forming a sheet into a T-shaped sleeve-like flap 1 comprising a first branched part 8 and a second and third branched parts 9, 10, and disposing elastic members in the second and third branched parts 9, 10. When the diaper is worn, the branched parts 9, 10 are elastically and tightly brought into contact with the thigh part to receive excrements flowed in a pocket 14 formed with the branched part 9.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭64-68503

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>  
A 41 B 13/02

識別記号 庁内整理番号  
F-6154-3B  
G-6154-3B

⑭ 公開 昭和64年(1989)3月14日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 使い捨てオムツ

⑯ 特 願 昭62-223780

⑰ 出 願 昭62(1987)9月7日

⑱ 発 明 者	鈴 木 磨	神奈川県鎌倉市植木19-2
⑲ 発 明 者	越 智 光 三	愛媛県宇摩郡土居町大字藤原4-172
⑳ 発 明 者	工 藤 武 司	愛媛県川之江市川之江町3389-11
㉑ 出 願 人	ユニ・チャーム株式会社	愛媛県川之江市金生町下分182番地
㉒ 代 理 人	弁理士 白浜 吉治	

明 細 書

1. 発明の名称

使い捨てオムツ

2. 特許請求の範囲

(1) 液透過性トップシートと、液不透過性バックシートと、該両シート間に介在する吸収体と、弾性部材によって伸縮する防漏手段を備える使い捨てオムツにおいて、

前記防漏手段は、可撓性フラップと、弾性部材とからなり、

前記フラップは、オムツから上方向に突出する第1分岐部と、該第1分岐部から内方向に張り出す第2分岐部と、該第1分岐部から外方向に張り出す第3分岐部とからなり、かつ、

前記弾性部材は前記第2および第3分岐部に位置している

ことを特徴とする前記オムツ。

(2) 前記弾性部材は、少なくとも、前記第2および第3分岐部の側縁に、かつ、それらの長さ方向のほぼ中央部に位置している特許請求の範囲第1

項記載のオムツ。

(3) 前記第1分岐部は、前記吸収体の外側縁から外方向に延びるベースフラップに連設されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(4) 前記ベースフラップは、少なくとも前記バックシート部分によって形成されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(5) 前記ベースフラップは、前記トップシートおよびバックシート部分によって形成されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(6) 前記第1分岐部が通気防水性である特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(7) 前記第1および第3分岐部が通気防水性である特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(8) 前記第1、第2および第3分岐部が通気防水性である特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(9) 前記第2分岐部の長さ方向両端部が固定されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(10) 前記第3分岐部の長さ方向両端部が固定されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(11)前記第2および第3分岐部の長さ方向両端部が固定されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(12)オムツの前側区域における前記第2分岐部の長さ方向一端部が固定されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(13)オムツの前側区域における前記第3分岐部の長さ方向一端部が固定されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(14)オムツの前側区域における前記第2および第3分岐部の長さ方向一端部が固定されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(15)前記第2および第3分岐部の幅が実質的に等しい特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(16)前記第2分岐部の幅が前記第3分岐部のそれよりも広い特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(17)前記第3分岐部の幅が前記第2分岐部のそれよりも広い特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(18)前記防漏手段は、オムツの股下区域における対向側部に備えている特許請求の範囲第1項記載

のオムツ。

(19)前記防漏手段は、オムツのウエスト部に備えている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(20)前記防漏手段は、オムツの股下区域における対向側部およびウエスト部に備えている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

### 3. 発明の詳細な説明

#### (1) 発明の目的

#### (産業上の利用分野)

本発明は、オムツカバーを必要としない使い捨てオムツ、とくに脚回りまたは／およびウエスト回りにおける防漏手段に特徴を有する該オムツに関する。

#### (従来の技術とその問題点)

イギリス特許公開第2,181,336Aには、脚回りにおける防漏手段が開示されている。この防漏手段は、外方向に延出し弾性部材を備える第1のフラップと、一側縁に弾性部材を備え他側縁をオムツ本体に連結して該一側縁が内方向に向くよう倒した状態でその長さ方向両端部を固定した第2の

フラップとからなる。

前記第2のフラップは、その弾性部材の収縮力によって起き上がらせることで、排泄物の横方向への流れを受止するポケットを形成するために設けられている。こうした構成を有するオムツにおいて、オムツの着用時に、前記ポケットが開口するのは、前記第2のフラップがその弾性部材の収縮力によって起き上がって股間(両大腿間の部位)に圧接した状態にあるときである。このとき、前記第1のフラップは、オムツの裏側へ折れ曲がり、大腿にその弾性部材の作用によって圧接している状態にある。こうした状態では、前記第1のフラップの前記折れ曲がり縁と前記第2のフラップの基端縁、すなわち、前記第2のフラップのオムツ本体に対する前記連結縁とが一致し、前記第2のフラップは大腿には圧接することはない。

ところで、前記ポケットの開口状態は、前記第2のフラップの起き上がり角度によって著しく異なる。たとえば、着用者が大腿を広げるような姿勢をとって前記第2のフラップが伸張したときや、

着座して前記第2のフラップが内方向に押し倒されたときなどには、前記開口状態が十分になされず、その結果、前記ポケットによる排泄物、とくに流動性便や尿の受止効果がえられず、その漏れが生じるという問題がある。

本発明は、主として、前述のような問題を解決することができるとともに、排泄物の漏れ防止としての優れたシール効果がえられる使い捨てオムツの防漏手段を提供することを目的とする。

#### (2) 発明の構成

#### (問題点を解決するための手段)

本発明は、液透過性トップシートと、液不透過性バックシートと、該両シート間に介在する吸収体と、弾性部材によって伸縮する防漏手段を備える使い捨てオムツを前提とする。

前記防漏手段は、可撓性フラップと、弾性部材とからなり、前記フラップは、オムツから上方向に突出する第1分岐部と、該第1分岐部から内方向に張り出す第2分岐部と、該第1分岐部から外方向に張り出す第3分岐部とからなり、かつ、前

記弾性部材は前記第2および第3分岐部に位置している。

(実施例)

本発明の実施例を図面を参照して説明すると、以下のとおりである。

第1図において、オムツは、液透過性トップシート1と、液不透過性バックシート2と、該両シート間に介在する吸収体3と、該吸収体の概および横対向側縁から外方向に延出する該両シート部分で形成されるウエストおよびサイドフラップ4、5と、背側ウエストの横対向側に取り付けられたテープファスナー6とを含む。

第2図Aに示すように、オムツはフラップ5の縦方向に延びる第2のフラップ7を備える。フラップ7は、1枚のシートでT型のスリーブ状に形成され、フラップ5の上面に固定された第1分岐部8と、該第1分岐部の上端部から内方向に張り出す第2分岐部9と、該第1分岐部から外方向に張り出す第3分岐部10とからなる。第2および第3分岐部9、10中には、比較的幅広い弾性部材11

る。

こうした第2および第3分岐部の長さ方向両端部の固定ならびに張り出し幅は、オムツの大きさ、フラップ7の吸収体3からの距離、第1分岐部8の突出高さなどを総合的に考慮して、最も良好な着用状態がえられるように決定される。

第4図に示す実施例において、フラップ7は、第2および第3分岐部9、10がそれぞれスリーブ状に形成され、それぞれに別体の弾性部材11が介在せしめられている。

第5図に示す実施例のフラップ7は、第2および第3分岐部9、10の側縁にそれぞれ紐状の弾性部材11を該側縁で巻き込むことによって形成されている。

第6図に示す実施例のフラップ7は、第2分岐部9の側に紐状の弾性部材11が、また、第3分岐部10のほぼ全幅にわたり紐状の複数本の弾性部材11がそれぞれ該縁で巻き込むことによって形成されている。

第4図ないし第6図に示す実施例のフラップ7

が介在せしめられている。弾性部材11は少なくともオムツの股下区域に位置しておればよい。

第2および/または第3分岐部9、10は、その長さ方向両端部またはオムツの前側区域における長さ方向一端部においてフラップ5に固定されていることが好ましい。こうした固定態様は、第1図に符号12で示す部位において、第2分岐部9の長さ方向両端部が固定される場合のほか、第3分岐部10の長さ方向両端部が固定され、第2および第3分岐部9、10の長さ方向両端部が固定され(第3図参照)、オムツの前側区域における第2分岐部の長さ方向一端部が固定され、オムツの前側区域における第3分岐部の長さ方向一端部が固定され、オムツの前側区域における第2および第3分岐部9、10が固定される、という各場合がある。

第2および第3分岐部9、10の横方向への張り出し幅は、第2図Aに示すように両者が実質的に同じく形成される場合のほか、第2図B、Cに示すように、前者が後者よりも狭く形成される場合と、前者が後者よりも広く形成される場合とがあ

は、2枚のシートのほぼ下半部を接合して第1分岐部8と、非接合のほぼ上半部を第2および第3分岐部9、10とに形成されているので、第2および第3分岐部9、10の境界線上に分岐線が生じる。したがって、弾性部材11が収る程度、収縮している場合には、前記分岐線を介して第2および第3分岐部9、10がほぼV型状に上方向に屈曲する傾向がある。第2図AないしCに示す実施例の第2および第3分岐部9、10の場合も、弾性部材11の収縮度などによっては、上方向へU型状に屈曲することはあるが、第4図ないし第6図に示す実施例の場合の前記屈曲状態がより顕著になる。第4図ないし第6図に示す実施例においても、第2図AないしCに示す実施例と同様に、第2および第3分岐部9、10の張り出し幅およびそれらの長さ方向端部の固定が適宜選択される。

第2図ないし第6図に示す実施例の第1分岐部8の基端部13は、第1分岐部8の外側に位置していることが好ましいが、これに限定されない。

第2図ないし第7図に示すいずれの実施例にお

いても、第2分岐部9によってポケット14が形成される。ポケット14は、第2および/または第3分岐部9,10の長さ方向端部の固定の有無にかかわらず形成されるが、その固定があった方が好ましい。

第7図に示す実施例のフラップ7は、その形状・構造において第2図Aに示す実施例のそれと同じであるが、第1分岐部8の基端部13が吸収体3の側縁を巻き込んだトップシート1の部分とその下面に位置するバックシート2の部分との間に介在固定されている。

トップシート1は、不織布・多孔性プラスチックフィルムなど、バックシート2は、通気性プラスチックフィルム・該フィルムと不織布とのラミネートシートなど、吸収体3は、フラップバルブ・該バルブと高吸収性ポリマー粒子との混合物など、従来、この種のオムツの素材として公知のものをを用いることができるが、とくに限定されない。

フラップ7は、少なくともその一部が高度に可撓性にして通気防水性を有する素材から形成され

ることが好ましい。フラップ7の通気防水性を有する部位の形状としては、第1分岐部8がそうである場合、第3分岐部10がそうである場合、第1および第3分岐部8,10がそうである場合、第1、第2および第3分岐部8,9,10がそうである場合がある。通気防水性を有する素材としては、不織布・多孔性プラスチックフィルム・該両者のラミネートシートなどが用いられる。

弾性部材11は、天然または合成ゴム・ポリウレタンなどのプラスチック・熱処理で伸縮弾性を発現または回復するプラスチックなど、従来この種のそれとして公知のものが用いられるが、とくに限定されない。

なお、第1、第2および第3分岐部8,9,10を有するフラップ7は、オムツの股下区域に配置される場合について述べたが、そして、図示していないが、フラップ4、とくに背側区域におけるウエストフラップ4に、股下区域のフラップ5とともに、またはフラップ4のみに配置されていてもよい。また、場合により、フラップ4の外側縁にも

弾性部材が配置されていてもよい。

以上のようにオムツの股下区域にフラップ7を備える場合には、着用時に、通常、第2および第3分岐部9,10が大腿に弾性的に密着するとともに、大腿間の部位に位置することはなく、しかも、第2分岐部9によって形成されたポケット14に流動する排泄物が受止される。また、オムツのウエストフラップ4にフラップ7を備える場合には、第2および第3分岐部9,10がウエストに弾性的に密着し、しかも、第2分岐部9によって形成されるポケット14に流動する排泄物が受止される。こうしたフラップ7による機能および効果は、それがオムツの股下区域に配置されている場合において、より有効に奏するので、その場合が最適である。

### (3) 発明の効果

本発明は、以上のように、防漏手段としての特殊な形態のフラップを備え、該フラップの一部を構成する第2分岐部が通常、大腿間の部位ではなく大腿に弾性的に密着するから、該第2分岐部に

よって形成されたポケットの開口状態が着用者の姿勢などによる影響を受けることが少なく、十分に維持される。したがって、該ポケットによって排泄物、とくに流動性便・尿の流出を十分に受止することができる。同時に、該第2分岐部と近接して位置する第3分岐部も大腿に弾性的に密着するため、両分岐部があいまって排泄物の漏れ防止としての優れたシール効果がえられる。

### 4. 図面の簡単な説明

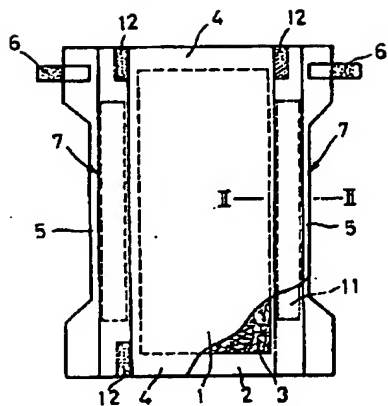
図面は本発明オムツの実施例を示すもので、第1図はオムツの一部を切欠した展開平面図、第2図A, B, Cは第1図II-II線断面図、第3図は第2図のオムツの一部の斜視図、第4図ないし第7図は防漏手段としてのフラップの別の実施例を示す断面図である。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1…トップシート | 2…バックシート |
| 3…吸収体    | 7…フラップ   |
| 8…第1分岐部  | 9…第2分岐部  |
| 10…第3分岐部 | 11…弾性部材  |
| 14…ポケット  |          |

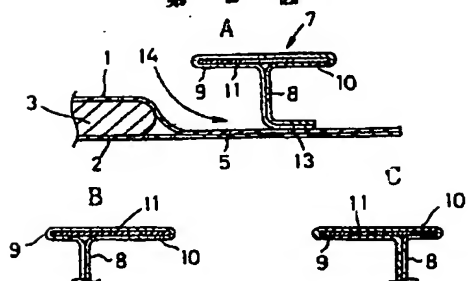
代理人 井理士 白 浜 吉 治



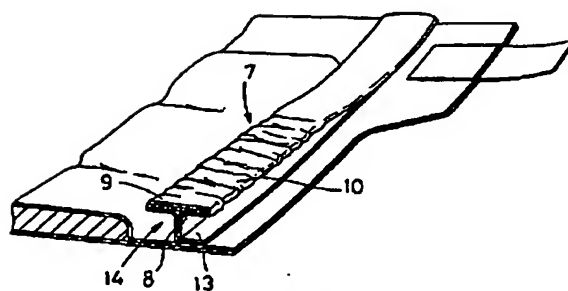
第 1 圖



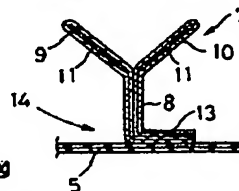
第 2 圖



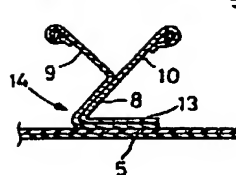
第 3 圖



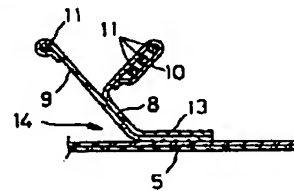
第 4 圖



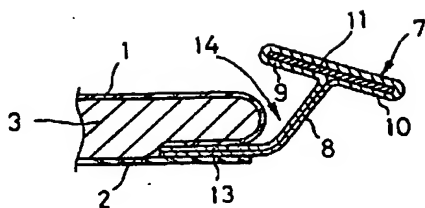
第 5 圖



第 6 圖



第 7 圖



特許法第17条の2の規定による補正の掲載

昭和 62 年特許願第 223780 号 (特開平  
1- 68503 号, 平成 1 年 3 月 14 日  
発行 公開特許公報 1- 686 号掲載) につ  
いては特許法第17条の2の規定による補正があっ  
たので下記のとおり掲載する。 3 ( 5 )

Int. Cl. 4	識別記号	庁内整理番号
A41B 13/02		F-6154-3B G-6154-3B

全文補正明細書

1. 発明の名称

使い捨てオムツ

2. 特許請求の範囲

(1) 液透過性トップシートと、液不透過性バックシートと、該両シート間に介在する吸収体と、弾性部材によって伸縮する可塑性フラップからなる防漏手段とを備える使い捨てオムツにおいて、

前記フラップは、オムツから上方向に突出する分岐部と、該分岐部から内方向への第1張り出し部および該分岐部から外方向への第2張り出し部を有するシール面域とからなり、かつ、

前記弾性部材は前記シール面域に位置していることを特徴とする前記オムツ。

(2) 前記弾性部材は、少なくとも、前記第1および第2張り出し部の側縁に、かつ、それらの長さ方向のほぼ中央部に位置している特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(3) 前記弾性部材は、少なくとも前記シール面域の中央部に位置している特許請求の範囲第1項記

平成 1.11.24 発行  
手続補正書

平成1年7月28日

特許庁長官 吉田 文 殿

1. 事件の表示

昭和62年特許願第223780号

2. 発明の名称

使い捨てオムツ

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

ユニ・チャーム株式会社

4. 代理人

東京都港区新橋3丁目7番3号 ミドリヤ第2ビル

(5526) 弁理士 白 浜 吉 治

5. 補正命令の日付

(自 発)

6. 補正の対象

明細書全文および図面全図

7. 補正の内容

(1) 別紙のとおり、明細書全文を補正する。

(2) 別添のとおり、図面全図を補正する。



載のオムツ。

(4) 前記分岐部は、前記吸収体の外側壁から外方向に延びるベースフラップに連設されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(5) 前記ベースフラップは、少なくとも前記バックシート部分によって形成されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(6) 前記ベースフラップは、前記トップシートおよびバックシート部分によって形成されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(7) 前記分岐部が通気性かつ液不透過性である特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(8) 前記分岐部および第2張り出し部が通気性かつ液不透過性である特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(9) 前記分岐部、第1および第2張り出し部が通気性かつ液不透過性である特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(10) 前記第1張り出し部の長さ方向両端部が固定されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(11)前記第2張り出し部の長さ方向両端部が固定されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(12)前記第1および第2張り出し部の長さ方向両端部が固定されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(13)オムツの前側区域における前記第1張り出し部の長さ方向一端部が固定されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(14)オムツの前側区域における前記第2張り出し部の長さ方向一端部が固定されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(15)オムツの前側区域における前記第1および第2張り出し部の長さ方向一端部が固定されている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(16)前記第1および第2張り出し部の幅が実質的に等しい特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(17)前記第1張り出し部の幅が前記第2張り出し部のそれよりも広い特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(18)前記第2張り出し部の幅が前記第1張り出し

部のそれよりも広い特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(19)前記防漏手段は、オムツの股下区域における対向側部に備えている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(20)前記防漏手段は、オムツのウエスト部に備えている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

(21)前記防漏手段は、オムツの股下区域における対向側部およびウエスト部に備えている特許請求の範囲第1項記載のオムツ。

### 3. 発明の詳細な説明

#### (1) 発明の目的

〔産業上の利用分野〕

本発明は、オムツカバーを必要としない使い捨てオムツ、とくに脚回りまたは／およびウエスト回りにおける防漏手段に特徴を有する該オムツに関する。

〔従来の技術とその問題点〕

イギリス特許公開第2,181,336Aには、脚回りにおける防漏手段が開示されている。この防漏手

段は、外方向に延出し弾性部材を備える第1のフラップと、一側縁に弾性部材を備え他側縁をオムツ本体に連設して該一側縁が内方向に向くように倒した状態でその長さ方向両端部を固定した第2のフラップとからなる。

前記第2のフラップは、その弾性部材の収縮力によって起き上がらせることで、排泄物の横方向への流れを受止するポケットを形成するために設けられている。こうした構成を有するオムツにおいて、オムツの着用時に、前記ポケットが開くのは、前記第2のフラップがその弾性部材の収縮力によって起き上がって股間(両大腿間の部位)に圧接した状態にあるときである。このとき、前記第1のフラップは、オムツの裏側へ折れ曲がり、大腿にその弾性部材の作用によって圧接している状態にある。こうした状態では、前記第1のフラップの前記折れ曲がり縁と前記第2のフラップの遠端縁、すなわち、前記第2のフラップのオムツ本体に対する前記連設縁とが一致し、前記第2のフラップは大腿には圧接することはない。

ところで、前記ポケットの開閉状態は、前記第2のフラップの起き上がり角度によって著しく異なる。たとえば、着用者が大腿を広げるような姿勢をとって前記第2のフラップが伸張したときや、着座して前記第2のフラップが内方向に押し倒されたときなどには、前記開閉状態が十分になされず、その結果、前記ポケットによる排泄物、とくに流動性便や尿の受止効果がえられず、その漏れが生じるという問題がある。

本発明は、主として、前述のような問題を解決することができるとともに、排泄物の漏れ防止としての優れたシール効果がえられる使い捨てオムツの防漏手段を提供することを目的とする。

#### (2) 発明の構成

〔問題点を解決するための手段〕

本発明は、液透過性トップシートと、液不透過性バックシートと、該両シート間に介在する吸収体と、弾性部材によって伸縮する可撓性フラップからなる防漏手段とを備える使い捨てオムツを提供とする。



前記防漏手段は、可撓性フラップと、弾性部材とからなり、前記フラップは、オムツから上方向に突出する分岐部と、該分岐部から内方向への第1張り出し部および該分岐部から外方向への第2張り出し部を有するシール面域とからなり、かつ、前記弾性部材は前記シール面域に位置している。  
〔実施例〕

本発明の実施例を図面を参照して説明すると、以下のとおりである。

第1図において、オムツは、液透過性トップシート1と、液不透過性バックシート2と、該両シート間に介在する吸収体3と、該吸収体の縦および横対向側縁から外方向に延出する該両シート部分で形成されるウエストおよびサイドフラップ4、5と、背側ウエストの横対向側に取り付けられたテープファスナー6とを含む。

第2図Aに示すように、オムツはフラップ5の縦方向に延びる第2のフラップ7を備える。フラップ7は、1枚のシートでT型のスリーブ状に形成され、フラップ5の上面に固定された分岐部8

シール面域10を形成する第1および第2張り出し部9a、9bの横方向への張り出し幅は、第2図Aに示すように両者が実質的に同じく形成される場合のほか、第2図B、Cに示すように、前者が後者よりも狭く形成される場合と、前者が後者よりも広く形成される場合とがある。

こうした第1および第2張り出し部の長さ方向両端部の固定ならびに張り出し幅は、オムツの大きさ、フラップ7の吸収体3からの距離、分岐部8の突出高さなどを総合的に考慮して、最も良好な着用状態がえられるように決定される。

第4図に示す実施例において、フラップ7は、第1および第2張り出し部9a、9bがそれぞれスリーブ状に形成され、それぞれに別体の弾性部材11が介在せしめられている。

第5図に示す実施例のフラップ7は、第1および第2張り出し部9a、9bの側縁にそれぞれ紐状の弾性部材11を該側縁で巻き込むことによって形成されている。

第6図に示す実施例のフラップ7は、第1張り

と、該分岐部の上端部から内方向への第1張り出し部9aおよび該分岐部から外方向への第2張り出し部9bを有するシール面域10とからなる。シール面域10中には、比較的幅広い弾性部材11が介在せしめられている。弾性部材11は少なくともオムツの股下区域に位置しておればよい。

第1および/または第2張り出し部9a、9bは、その長さ方向両端部またはオムツの前側区域における長さ方向一端部においてフラップ5に固定されていることが好ましい。こうした固定態様は、第1図に符号12で示す部位において、第1張り出し部9aの長さ方向両端部が固定される場合のほか、第2張り出し部9bの長さ方向両端部が固定され、第1および第2張り出し部9a、9bの長さ方向両端部が固定され、オムツの前側区域における第1張り出し部の長さ方向一端部が固定され、オムツの前側区域における第2張り出し部の長さ方向一端部が固定され、オムツの前側区域における第1および第2張り出し部9a、9bが固定される、という各場合がある。

出し部9aの側に紐状の弾性部材11が、また、第2張り出し部9bのほぼ全幅にわたり紐状の複数本の弾性部材11がそれぞれ該縁で巻き込むことによって形成されている。

第4図ないし第6図に示す実施例のフラップ7は、2枚のシートのほぼ下半部を接合して分岐部8と、非接合のほぼ上半部を第1および第2張り出し部9a、9bとに形成されているので、第1および第2張り出し部9a、9bの境界線上に分岐線が生じる。したがって、弾性部材11が収る程度、収縮している場合には、前記分岐線を介して第1および第2張り出し部9a、9bがほぼV型状に上方向に屈曲する傾向がある。第2図AないしCに示す実施例の第1および第2張り出し部9a、9bの場合も、弾性部材11の収縮度などによっては、上方向へU型状に彎曲することはあるが、第4図ないし第6図に示す実施例の場合の前記屈曲状態がより顕著になる。第4図ないし第6図に示す実施例においても、第2図AないしCに示す実施例と同様に、第1および第2張り出し部9a、9bの

張り出し幅およびそれらの長さ方向端部の固定が適宜選択される。

第2図ないし第6図に示す実施例の分岐部8の基端部13は、分岐部8の外側に位置していることが好ましいが、これに限定されない。

第2図ないし第7図に示すいずれの実施例においても、第1張り出し部9aによってポケット14が形成される。ポケット14は、第1および/または第2張り出し部9a、9bの長さ方向端部の固定の有無にかかわらず形成されるが、その固定があった方が好ましい。

第7図に示す実施例のフラップ7は、その形状・構造において第2図Aに示す実施例のそれと同じであるが、分岐部8の基端部13が吸収体3の側縁を巻き込んだトップシート1の部分とその下面に位置するバックシート2の部分との間に介在固定されている。

第4図ないし第7図に示す実施例のフラップ7も、第1および第2張り出し部9a、9bからシール面域10が形成されていることは、第1図ないし

第2図に示す実施例のフラップ7となんら変りがない。

トップシート1は、不織布・多孔性プラスチックフィルムなど、バックシート2は、通気性プラスチックフィルム・該フィルムと不織布とのラミネートシートなど、吸収体3は、フラップバルブ・該バルブと高吸収性ポリマー粒子との混合物など、従来、この種のオムツの素材として公知のものをを用いることができるが、とくに限定されない。

フラップ7は、少なくともその一部が高度に可撓性にして通気性かつ液不透過性を有する素材から形成されることが好ましい。フラップ7の通気性かつ液不透過性を有する部位の態様としては、分岐部8がそうである場合、第2張り出し部9bがそうである場合、分岐部8および第2張り出し部9bがそうである場合、分岐部8ならびに第1および第2張り出し部9a、9bがそうである場合がある。通気性かつ液不透過性を有する素材としては、不織布・多孔性プラスチックフィルム・該両者のラミネートシートなどが用いられる。

弾性部材11は、天然または合成ゴム・ポリウレタンなどのプラスチック・熱処理で伸縮弾性を発現または回復するプラスチックなど、従来この種のそれとして公知のものが用いられるが、とくに限定されない。

なお、分岐部8ならびに第1および第2張り出し部9a、9bを有するフラップ7は、オムツの股下区域に配置される場合について述べたが、そして、図示していないが、フラップ4、とくに背側区域におけるウエストフラップ4に、股下区域のフラップ5とともに、またはフラップ4のみに配置されていてもよい。また、場合により、フラップ4の外側縁にも弾性部材が配置されていてもよい。

以上のように、オムツの股下区域にフラップ7を備える場合には、着用時に、通常、シール面域10が大腿に弾性的に密着し、しかも、第1張り出し部9aによって形成されたポケット14に流動する排泄物が受止される。また、オムツのウエストフラップ4にフラップ7を備える場合には、第1および第2張り出し部9a、9bがウエストに弾性

的に密着し、しかも、第1張り出し部9aによって形成されるポケット14に流動する排泄物が受止される。こうしたフラップ7による機能および効果は、それがオムツの股下区域に配置されている場合において、より有効に奏するので、その場合が最適である。

### (3) 発明の効果

本発明は、以上のように、防漏手段としての特殊な形態のフラップを備え、該フラップの一部を構成するシール面域の第1張り出し部が通常、大腿に弾性的に密着するから、該第1張り出し部によって形成されたポケットの開口状態が着用者の姿勢などによる影響を受けることが少なく、十分に維持される。したがって、該ポケットによって排泄物、とくに流動性便・尿の流出を十分に受止することができる。同時に、シール面域の第1張り出し部と近接して位置する該シール面域の第2張り出し部も大腿に弾性的に密着するため、両張り出し部があいまって排泄物の漏れ防止としての優れたシール効果がえられる。

4. 図面の簡単な説明

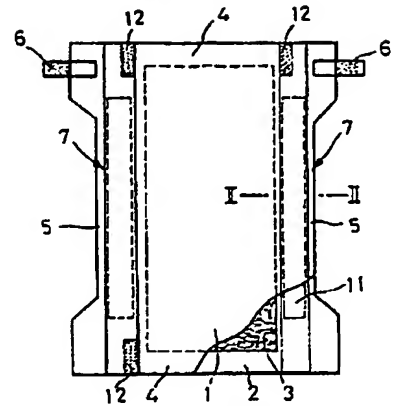
図面は本発明オムツの実施例を示すもので、第1図はオムツの一部を切欠した展開平面図、第2図A、B、Cは第1図II-II線断面図、第3図は第2図のオムツの一部の斜視図、第4図ないし第7図は防漏手段としてのフラップの別の実施例を示す断面図である。

- |            |            |
|------------|------------|
| 1…トップシート   | 2…バックシート   |
| 3…吸収体      | 7…フラップ     |
| 8…分岐部      | 9a…第1張り出し部 |
| 9b…第2張り出し部 | 10…シール面域   |
| 11…弾性部材    | 14…ポケット    |

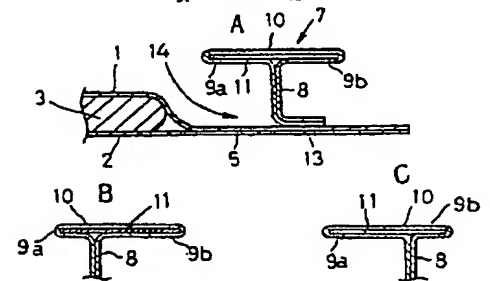
代理人弁理士 白 浜 吉 治



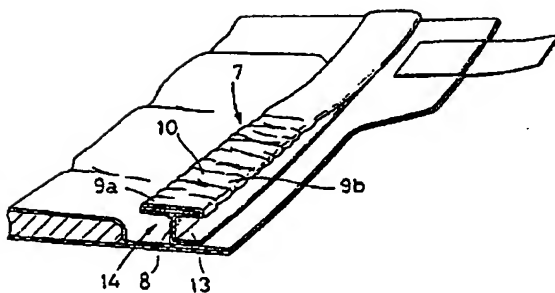
第 1 図



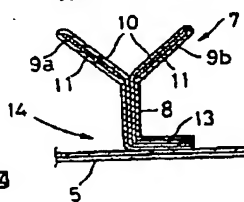
第 2 図



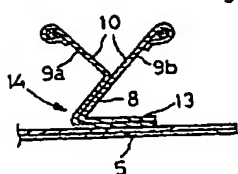
第 3 図



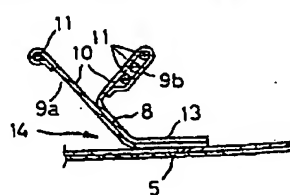
第 4 図



第 5 図



第 6 図



第 7 図

